

## 支部長挨拶

日本気象学会北海道支部 支部長  
安田 珠幾

日本気象学会北海道支部会員の皆様には、日頃より、日本気象学会北海道支部の運営にご協力いただき感謝申し上げます。

令和6年1月に支部長を仰せつかりました、札幌管区気象台長の安田です。北海道支部会員の皆様からのご支援、ご協力をいただきながら、北海道支部の発展に努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

日本気象学会では、会員数の減少、会員の構成の変化等により、大会のあり方や支部の運営などの改革が始まっています。特に、この北海道支部では、支部活動の改革に先進的、意欲的に取り組まれていると認識しております。これまでの北海道支部の経験を全国の支部に広げ、学会活動をよりよいものにしていくとともに、北海道支部の活動を維持・発展させていきたいと考えております。

全国各地で線状降水帯や台風等による大雨など、極端な自然現象による災害が毎年のように発生しており、今後、地球温暖化の影響によりさらに激甚化・頻発化すること懸念されています。北海道では、令和5年8月の空知・上川地方を中心とした大雨や10月の大雨、また、冬季に入ってから的大雪や暴風雪等により、令和5年度も道内各地で被害が発生しています。そのような災害から身を守るためには、現象を正しく理解し、防災気象情報や自治体の避難情報等により災害を防ぐ行動を取ることが重要です。気象学を扱う私達への社会からの期待は高まっていると感じており、その期待に応えるとともに、防災や気象予報に携わっている方々と連携した活動により、地域社会への防災の意識向上を図っていくことが重要であるとと考えております。

このような観点からも、皆様とともに、今後の支部活動の維持・発展に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。